

普及現地情報

発信年月日:令和6年(2024年)9月25日
所属名:大津・南部農産普及課
番号:A24008
発信者名:北川、前田



子ども参観でお米の食べ比べ体験を実施！

8月8日に南部合同庁舎で「子ども参観」が実施され、当課はお米の作り方を説明し、「みずかがみ」と「きらみずき」の食べ比べを子どもたちに体験していただきました。当日は南部合同庁舎で働いている職員の子どもの参加がありました。

子ども参観に参加された小学生を対象に滋賀県の農業について、興味を持ってもらうために、作付面積が最も多い水稻に注目し、お米の作り方を説明しました。播種から稲刈りまでの流れを簡単に説明した後は、お米に関するクイズを行いました。普段食べているお米がどのようにして作られているのか、年間どのくらいのお米を消費しているのか興味を持っている様子でした。

その後に、滋賀県で育成された「みずかがみ」と「きらみずき」の2品種の食べ比べを体験していただきました。子どもたちからは「きらみずきの方がおいしかった！」や「2品種とも味や弾力が違って個性がある」といった感想が聞かれました。

子ども参観日は職員の子どもの親の職場で仕事を学び、親子の対話が深まることを目的としています。この対話をきっかけに子どもたちが農業に興味を持ち、友人や家族との農業体験や県内農産物の消費につながることを期待されます。



写真 お米の作り方を説明